

SOS を捨てられた子ども達を守るため 日本中のいじめ被害保護者が立ち上がる！

わが子がいじめ被害により精神疾患を煩い不登校、転校、転居、裁判など様々な経験をしてきた当事者団体が
その経験を全国の被害者の何かお役に立てればという思いで解決に向けて情報や知識を提供。
これからの被害者が私達と同じ苦しみを味わわずに済む未来に変わっていくようお願いながら
相互理解に向けて日々活動しています。

【いじめ被害の現状と課題】

日本の学校現場では、いじめ被害に遭った子どもたちの心のケアが後回しにされるケースが多く見られます。
被害児童が助けを求めているにもかかわらず、まずは加害者との関係修復を優先し、被害者の安全確保や心の回復が十分に行われていません。その結果、被害児童は学校に行けなくなったり、精神的な疾患を抱えたりする深刻な事態に陥っています。

令和6年度のいじめ認知件数は76万9千人、小中高生の自殺者数は527人、不登校者数は35万3,970人と過去最多を更新しており、問題の深刻さが浮き彫りになっています。

【被害保護者会ヨリドコロの会の活動】

一般社団法人いじめ・ハラスメント被害保護者会ヨリドコロの会は、被害者とその家族の支援を目的に設立されました。無料の相談窓口を設け、被害者同士の交流や情報共有を促進しています。

また、年に2回の「親子のためのよりどころフェス！」や毎月のオンライン茶話会「親のための拠り所カフェ」など、当事者が参加しやすいイベントも開催しています。

さらに、2026年春と秋に東京・大阪で開催予定のシンポジウム「ヨリドコロPROJECT」では、行政や専門家を招き、いじめ問題の根本的な解決に向けた議論を深める計画です。

【目指す未来と支援のお願い】

ヨリドコロの会は、いじめ被害者・加害者双方への支援制度の導入や、いじめ防止対策推進法の罰則付き改正、子どもの人権侵害に関する時効撤廃などを求めています。また、教育委員会とは独立した行政機関の設置を目指し、寝屋川市広瀬市長とも連携しています。

こうした取り組みを通じて、いじめ被害者が安心して学べる環境の実現を目指しています。**子どもたちの未来を守るために、多くの方の理解と支援が必要です！！**

詳しくは下のQRコードからページをご覧ください。

2025年12月13日現在



クラウドファンディング
プロジェクトページは
こちらのQRコードから
読み取りをお願いします。



《銀行振込ご希望の方》

広島銀行 本川支店 普通 No.3575801

一般社団法人いじめ・ハラスメント被害保護者会
ヨリドコロの会



一般社団法人いじめ・ハラスメント被害保護者会

ヨリドコロの会



ヨリドコロの会
公式ホームページ